

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
地域生活支援学		必修	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
浅野 克俊 他	C313	k.asano	水曜 13:00~14:00		
授業の目的・概要	住み慣れた地域で自分らしい生活が維持できるよう予防作業療法と就労支援を中心に学ぶ。介護予防に関する理念と制度、福祉的就労に関する各種制度、予防作業療法と就労に関する評価と具体的な支援内容、自助・共助を中心とした地域づくりの実践について講義と事例検討を行う。また、臨床実習Ⅱ(地域実習)に向け介護予防分野の実践的な知識や技術を身につける。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	地域作業療法学と並行して行われるため、学習した知識や技術を都度復習すること。グループワークを中心に授業が展開されていくので、積極的な討論に参加すること。				
教科書	大熊 明/加藤 朋子 編 地域作業療法学 (標準作業療法学 第3版) 医学書院				
参考書	山田実 編著 イチからわかる!フレイル・介護予防 Q&A 医歯薬出版				
外部教材	Strengthening Community Health Worker Programs (HarvardX) Rajesh Ramesh Panjabi et al,edX				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	予防作業療法の目的と意義について説明できる。			OT(1)~(3)	
②	予防に関連した評価について説明できる。			OT(1)~(3)	
③	予防作業療法のプログラムについて説明できる。			OT(1)~(3)	
④	自助・共助を促進する方法について説明できる。			OT(1)~(3)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	予防作業療法の理念、概要を学ぶ	講義	授業前に教科書 P29~33 を精読	1	
2	介護予防・日常生活支援総合事業について学ぶ	講義	授業で提示した資料を用いて復習	1	
3	一般介護予防事業の概要と実践について学ぶ	講義	授業で提示した資料を用いて復習	1	
4	自助・共助における地域づくりの概要と実践について学ぶ	講義	授業で提示した資料を用いて復習	1	
5	予防作業療法における評価について学ぶ ・生活不活発病と身体活動量 ・フレイルとサルコペニア ・認知症予防	講義	授業で提示した資料を用いて復習	1	
6	予防作業療法における具体的な支援方法について学ぶ	講義	授業で提示した資料を用いて復習	1	
7	職業関連活動の概要、作業療法士の就労支援について学ぶ	講義	授業で提示した資料を用いて復習	1	
8	就労を支援する法制度、障害者の雇用形態、障害者の就労に関する支援機関と専門職種について学ぶ	講義	授業で提示した資料を用いて復習	1	
9	就労支援の流れ、評価について学ぶ	講義・演習	授業で提示した資料を用いて復習	1	
10	Individual Placement and Support(IPS)、その他就労に関する最新の知見について学ぶ	講義	授業で提示した資料を用いて復習	1	
11	予防作業療法の事例検討(介護予防・生活支援サービス事業)	GW	グループごとで討論しまとめる	2	
12	予防作業療法の事例検討(発表)①	発表	グループごと発表準備を行う	2	
13	予防作業療法の事例検討(地域リハビリテーション活動支援事業)	GW	グループごとで討論しまとめる	2	
14	予防作業療法の事例検討(発表)②	発表	グループごと発表準備を行う	2	
15	地域生活を支える作業療法士の支援の在り方を学ぶ	講義	授業で提示した資料を用いて復習	1	
試	期末試験				

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		40	0	60	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	30	0	20	0	0	50
	思考・推論・創造する力	10	0	15	0	0	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	0	5
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	15	0	0	15
評価のポイント			フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①		学期末に定期試験を実施して評価する。試験は、講義で学んだ教科書・配布プリント・板書ノートの内容に基づく問題、および応用問題を出題し、理解度を問う			研究室 (C313) 又は Teams を使用し試験結果を個別に開示し、解説を行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
	レポート	①					
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
成果発表	①	✓	予防作業療法に関する事例検討と発表を計 2 回行う。作業療法士として適切な地域支援の方法が検討できているかを評価する。			発表後にグループごとにフィードバックを行う	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	長谷川 文						
教員の実務経験	担当教員は作業療法士として 10 年以上の臨床業務経験を有する						
実践的授業の内容	地域作業療法（介護予防と就労支援）の実務経験のある教員で、予防作業療法の評価・支援について臨床をもとに事例検討を行う。						
そ の 他	授業は面接授業で実施する。大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。受講態度に問題がある学生は退室をしてもらうので注意すること。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更の可能性はある。課題提出は Teams を使って行う。						